

上山高原エコミュージアム（仮称） —基本計画（中間とりまとめ）について、 あなたのご意見をお寄せ下さい—

美方郡温泉町の上山高原には、自然豊かなブナの森や、人の生活の中で育まれてきたススキ草原が残されています。兵庫県では、これらの自然を守り、育てながら、地域の資源を活かしたさまざまな体験型プログラムを実施する「上山高原エコミュージアム(仮称：以下略)」を進めようとしています。そこで、学識者等で構成する「上山高原エコミュージアム基本計画策定委員会」を設置し、地元ではワークショップを開催しながら検討を進め、このたび基本計画の中間とりまとめを作成しました。この中間とりまとめ案にみなさんのご意見をいただきたいと思ひます。「上山高原でこんなことがしたいなあ」「こんな取り組みがあればいいなあ」などたくさんの皆様からのご意見・ご提案をお待ちしています。

上山高原エコミュージアムの取り組みイメージ



エコミュージアムってなに？
地域をまるごと「生きた博物館」と見立て、地域の暮らしと関わる有形・無形の資源を、地域の人々を中心に、幅広い主体の参画と協働を得ながら、活かしつつ保全する取組で、地域活性化にも役立てていこうとするものです。

中間とりまとめ概要の入手方法
兵庫県環境政策課自然環境保全室 (tel 078-362-9084)、又は最寄りの県民局環境課で入手できます。
また、兵庫県環境局のホームページでもご覧いただけます。(http://www.pref.hyogo.jp)
ご意見の募集期間・送付先(問い合わせ先)
募集期間：平成14年2月18日(月)まで
ご意見の送付先：兵庫県環境政策課自然環境保全室あて
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 FAX:078-362-4024
E-mail: kankyouseisakuka@go.phoenix.pref.hyogo.jp

上山高原エコミュージアムの基本的な考え方

貴重で豊かな生態系を守り・育む

自然性の高いブナ林と人の営みの中で育まれてきたススキ草原を持ち、イヌワシやツキノワグマなど貴重で多様な生態系を育む上山高原の自然を県民共有の財産と位置づけ、復元・育成し後世に継承します。

自然と暮らしの共生の知恵から学び・活かす

生物多様性を維持してきた自然の循環のしくみや、自然と共生してきた麓の集落の暮らしに息づく知恵を学び、環境保全・創造に向け活かしていきます。

多様な主体による参画と協働

地域住民と都市住民、また、個人、団体・NPO、事業者、行政といった多様な主体が知恵と力と資金を出し合いながら、参画と協働により環境保全・創造に取り組みます。

環境保全を地域振興につなげる

環境保全と地域振興をリンケージする（結ぶ）ことにより、環境保全の継続的な取組を可能とさせます。

事業展開の手法

企画段階からの幅広い参画と協働のシステムづくり

地域住民・都市住民による体験型ワークショップ/NPOによる運営組織づくり/
上山高原応援団の結成 等

多彩な体験型交流・実践プログラムの実施

ブナ苗ホームステイ/子ども向けプログラム/地元住民による上山解説指導員 等

全県、全国への情報発信システムづくり

ニュースの発行/話題性を持ったイベントの継続的開催 等

湯村温泉や商工・農林団体、NPOなどとも連携したコミュニティビジネス*

エコツーリズムの拠点として全国発信、民泊の提供 等

*コミュニティビジネスとは、地域を豊かにする住民主体の事業で、地域社会の形成、発展に貢献する事業のことです。

「つくる」から「つかう」を重視した、テーマ性を持った施設整備

ビジターセンター - 等への既存施設の利用、木のぬくもりを統一テーマとした景観整備等



ボランティアによる灌木の刈り取り作業
(平成13年10月)

自然の保全・復元は？

様々な人々の協働により、ススキ草原の維持・管理や、スギ人工林のブナ林化などを進めていきます。

ススキ草原の目標面積（約50ha）

ブナ林の目標面積（約300ha）

誰が進めるの？

住民主体の組織体制を整え、幅広い支援のしくみを考えていきます。

地元の運営組織を中心として、都市住民や団体・NPO、事業者、行政といった多様な主体が参画・協働し事業を進めます。

運営組織は広く情報発信を行い会員や寄付を募り、県民みんなで支えるエコミュージアムを目指します。

現在開催中のワークショップをもとに運営組織を立ち上げ、NPO法人設立を目標に具体的な運営方法などについて検討を進めます。

地域資源を活かした

多彩な交流・実践プログラムの展開をめざします

プログラムのイメージ

学習・体験プログラム

上山高原の多様な自然や農村の暮らしへの理解を深めるプログラム（ススキ草原の刈り取り、里のくらし体験など）

研究プログラム

上山高原を、自然環境や歴史・文化等の研究の「場」として利用する団体や研究者を支援するプログラムなど

研修プログラム

自然観察ガイドや地域の自然保全・創造作業のリーダー養成のためのプログラム など

その他のプログラム

上山高原の自然を県民共有の財産として継承するため、企業や団体など、様々な主体に維持管理を委ねるアドプトプログラム など